



大分大学災害ボランティアを通じた「被災地」の「今」と「これから」

令和2年7月豪雨災害と復興への課題

宝泉寺温泉（九重町）と天ヶ瀬温泉（日田市）の現状を直接見て被災した地域の方とともに災害復興への課題について学びます。



写真は令和2年7月豪雨による大分大学災害ボランティアの活動の様子

主催 大分大学減災・復興デザイン教育研究センター【CERD】， 学生・留学生支援課

実施 11月18日（水曜） 9：00（出発） 16：00（帰着予定）

定員 30名（学生対象・申込順） コロナウイルス感染対策により定員数を限定しています
災害ボランティア参加経験の有無は問いません

集合 大分大学留学生寄宿舍下駐車場（大分大学前駅側駐車場）

※当日は学校推薦型選抜試験のため学生は学内への立入りできません

申込締切 10月30日（金）

二次元バーコードを読み取ってください
<https://forms.gle/CGrERx7RwxzrQqJh6>



新型コロナウイルス感染症に係る学生通知（9.10）への対応を遵守するとともに、当日は健康状況や検温及びマスク着用を義務付けます。また、被災地の方が不愉快に感じるような服装は控えてください。

本事業の一部は「学生災害ボランティア支援の会」による【学生CERD 代表：山口泰輝（教育学部3年）】への災害ボランティア活動助成により実施されています。



お問合せ先

大分大学減災・復興デザイン教育研究センター
Mail: cerd-office@oita-u.ac.jp
TEL : 097-554-7333

協力

ほたるとかじかの宿 旅館九重
宝泉寺温泉旅館組合
天ヶ瀬温泉未来創造プロジェクト
学生CERD